

令和4年度 市長会一般会計・特別会計事業報告及び決算報告（概要版）

一般会計事業

1 活力にあふれる圏域づくり【産業振興】

① 圏域企業の産業連携支援事業 <資料1 P3>

(1) 圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング<資料1 P3>

◆ビジネスマッチング商談・展示会 2022in 松江の開催

- ・日時：10/13（木）※対面式
- ・会場：くにびきメッセ
- ・商談参加企業数：196社
- ・当日商談件数：479件



【ビジネスマッチング商談会実績】

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
参加企業（社）	301	285	291	163	163	196
商談件数（件）	711	651	663	318	263	479
開催地	米子市	安来市	出雲市	オンライン		松江市

(2) 産学・医工連携事業 <資料1 P5>

◆医療・福祉・介護機器の開発支援

医療廃棄物容器用電動開閉装置「ミューカス」の開発支援

「圏域の医療機関（済生会境港総合病院）の企画考案で、圏域のものづくり企業が製造」という、最も理想的な開発形態であり、継続して積極的にビジネス化を支援していく



※賛助会員数：83社（3月末現在）

【実施状況】

項目	H29	H30	R元	R2	R3	R4
① 実用化件数	1	0	0	3	2	1
② 相談件数	78	101	113	55	137	145
③ マッチング成立件数※	0	12	6	5	7	18

※医療機関からのニーズに対する既製品の紹介、圏域外企業と部材調達ニーズに対する圏域企業の面談調整を含む

② 圏域内企業の海外展開支援事業

(1) 海外商談会参加等支援事業 <資料1 P6>

◆海外商談会参加等支援補助金の交付

実績：25 事業所に対し 3,600 千円の補助金を交付

【補助金交付実績】

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
補助事業者数	30	18	18	5	13	15
補助金額 (千円)	3,455	3,285	2,898	663	1,818	2,834
年度	H30	R1	R2	R3	R4	
補助事業者数	5	16	0	0	25	
補助金額 (千円)	308	1,364	0	0	3,600	

(2) インドとの経済交流事業 <資料1 P7>

◆インド人材向けオンライン日本語教育の実施

対象者：インターンシップ参加候補者 (14 名)



◆インターンシップ・会社見学受入

①ラジャギリ工業技術大学と島根大学との交換留学生 4 名のインターンシップ、会社見学を実施

・時期：4 月～8 月

受入企業：インターンシップ 3 企業/会社見学 3 企業

※うち 2 名が圏域企業へ就職。

②インドでの選考等を経て、SCMS3 名、コチ理工大学 2 名の短期インターンシップ実施

・時期：令和 5 年 2 月 受入企業：2 企業

③短期インターンシップ研修生候補者のうち 2 名のオンラインインターンシップを実施

・時期：8 月～9 月 (1 週間)



【実施状況】

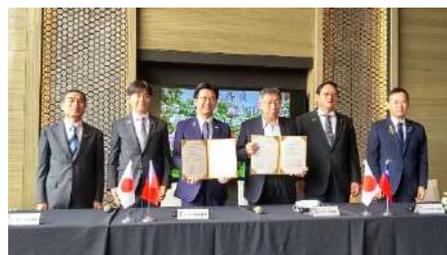
年度	H30	R1	R2	R3	R4
①インド IT 等人材の圏域内企業への就職者数 (人)	5	0	0	2	2
②日印間業務提携企業数 (社)	1	0	0	0	0
③インド人留学生インターンシップ受入れ人数 (人)	14	—	—	4※	5

※R3：島根大学交換留学生 4 名は R4.4 に来圏

(3) 台湾との経済交流事業 <資料1 P8>

◆台北市と交流促進覚書を締結

- ・日時：10/20（木）
- ・場所：リージェント・タイペイ
(台湾台北市中山北路二段39巷3号)



○中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市間の交流促進覚書の内容

- 1 観光誘客・物産の流通促進に向けたプロモーション
- 2 産業・経済分野における連携・協力
- 3 青少年等による文化・芸術・スポーツ等の交流
- 4 そのほか、相互の発展のために必要な事業の実施及び支援



◆台北市経済団体訪問

1月に台北市内の経済団体、台日産業連携推進オフィス（TJPO）、日本台湾交流協会、台湾貿易センター（TAITRA）を訪問、今後の経済交流に向けて意見交換を実施。また、あわせて圏域内事業者の台北市市場調査等を実施



◆春節前建国花市での物販支援

建国花市（1/14,15）で圏域PRを兼ねて物販支援を実施

③ 山陰いいものマルシェプロジェクト

(1) 山陰いいものマルシェプロジェクト <資料1 P9>

◆「山陰いいものマルシェ in 安来」の開催

- ・開催日：12月11日（日）
- ・会場：中海ふれあい公園（出店30店舗）
※荒天のため、途中中止（来場：600名）



◆山陰いいものマルシェ マッチング商談会の開催

- ・開催日：3月23日（木）
- ・会場：松江テルサ
- ・参加事業者：11社（うち圏域内事業者8社）
招致バイヤー：6社
- ・商談 37件



◆協力事業

- ・よなごグランマルシェ 2022（主催：米子商工会議所、米子商工会議所 青年部）
- ・開催日：10月29日（土）
- ・参加事業者：よなご・マルシェ 15店舗、山陰いいものマルシェ 15店舗

2 訪ねてみたい圏域づくり【観光振興】

※協定に基づき(一社)圏域観光局が実施

赤字は観光庁補助事業

① 外国人誘客対策事業

(1) クルーズ客船寄港時のおもてなし <資料1 P32>

令和4年度寄港回数 6回 (日本船 4回 外国船 2回)

- ◆岸壁における観光案内業務・交流イベント 6回実施
- ◆外国語ボランティアガイドによる観光案内業務 2回実施
(中海・宍道湖観光協会会議に委託)



(2) 圏域インバウンドプロモーション <資料1 P33>

◆海外への観光プロモーション

○欧米豪向けプロモーション

- ・英語版ホームページの充実(うんぱく三城)
- ・VISIT JAPAN トラベル& MICE マートへ出展(9/22~24)
- ・JNTO(日本政府観光局)オウンドメディア事業での「出雲国 酒ツアー」記事掲載



○台湾向け重点プロモーション

- ・訪日外国人向け情報サイト「JAPANKURU」記事制作、配信
- ・春節前建国花市でのブース出展(1/14)
- ・台湾現地商談会実施(2/7)
 - 参加団体 日本側:34団体 台湾側:63社(旅行会社)
- ・外国人による「山陰まんなか!歴史文化を知り、ご縁を結ぶ 広域周遊プラン」造成・流通受入環境整備事業
 - 広域周遊ルート(4件)
⇒内1コースを商品化し販売
 - 「縁結び」体験コンテンツ造成(5施設6件)
⇒販売開始に向け調整中



○WEBを活用した情報発信

- ・英語版フェイスブック、インスタグラムの運営委託
- ・Wechatでのライブ配信(8/4)出雲大社周辺で実施

② 国内誘客対策事業

(1) 国内広域観光プロモーション <資料1 P35>

◆WEB、SNSを活用したプロモーション

○日本語版ホームページの拡充

- ・セレクトリップ機能の追加
- ・ホームページデザインリニューアル
- ・公認アンバサダーを活用したブログ更新

(2記事/月×4名)



○その他、国内の観光需要を踏まえた情報発信

- ・BSS ラジオ「中四国ライブネット」での情報発信（6/19）
テーマ 「手仕事とグルメ」
- ・まっぷる山陰'23 記事掲載



(2) 人口集積地誘客プロモーション事業 <資料1 P36>

◆基幹交通機関と連携した観光プロモーションの実施

○航空機と連携した事業

- ・河北新報（27万部）に広告掲載（1/26）
- ・仙台市にて現地イベント開催（3/4,5）
（出雲市、21世紀出雲空港整備利用促進協議会、
出雲食戦略会議との共催）



◆お城を活用したプロモーションの実施

- ・大阪・お城フェス2022へ出展（8/12~8/14）
- ・城学（3講座×3日:270名参加）の実施（東大FSでの提案）



(3) 圏域観光再生支援プログラム <資料1 P37>

◆周遊促進キャンペーン

- ・インスタグラムハッシュタグキャンペーン
テーマ 鉄道とつながる旅
（11/18~3/5 応募総数 1,686件）
- ・山陰湯めぐりスタンプラリー
（12/24~3/6 応募総数 470件）



◆圏域素材を組み合わせたオンラインツアーの造成事業

- ・オンラインで「山陰の日本一と人の魅力に出会う旅」
造成・流通環境整備業務
 - オンラインツアー3件
⇒自宅視聴型ツアー1件（151名） アンテナショップと連携したツアー2件（13名）
 - リアルツアー2件 ⇒ 25名



③ 圏域観光の魅力アップ事業

(1) 圏域周遊促進及び受入環境充実 <資料1 P38>

◆外国人観光客受入環境整備

- ・キャッシュレス決済導入推進を図るためのデジタルツール
活用事例セミナーを開催（11/15 米子 11/16 松江）

◆長期滞在型旅行商品造成事業

- ・山陰のまんなかで「第2のふるさと」を発見
ロングステイ型旅行商品造成事業
 - 日本人向け旅行商品 2件 ⇒ 国内旅行業者が販売中
 - 外国人向け旅行商品 1件 ⇒ 国外旅行業者と商談
 - 交流促進コンシェルジュ育成研修
（10/5、7・座学、12/13・実地、1/17・実地）
⇒ 観光ガイド、宿泊施設スタッフ等、延べ67名参加



3 住みたくなる圏域づくり【環境の充実】

① 自然環境の保全・活用事業

(1) 自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発

<資料1 P11>

◆子ども探検スクールの開催



【夏季企画（参加者：児童 34 名 保護者 30 名）】

会場	概要	日時	参加者
安来市 伯太発電所・伯太中央交流センター	水力発電所の見学、発電工作キットで発電の仕組みを学習	8/7 (日)	児童 19 名 保護者 17 名
松江市 大芦海岸・マリゲートしまね	海岸清掃と環境ミニゲームなどでごみが海の環境に与える影響を学習	8/20 (土)	児童 7 名 保護者 6 名
境港市 三光潮見工場・三光本社	工場見学、リサイクルエネルギーなどについて学習	8/27 (土)	児童 8 名 保護者 7 名

【冬季企画（参加者：児童 37 名 保護者 30 名）】

会場	概要	日時	参加者
中海	中海・宍道湖についての学習、船上からの水鳥観察	12/4 (日)	児童 8 名 保護者 10 名
宍道湖		12/11 (日)	児童 10 名 保護者 10 名
米子市 米子市クリーンセンター・ローカルエネルギー(株)	施設見学、発電の仕組み、再生可能エネルギーについて学習	12/17 (土)	児童 9 名
出雲市 出雲エネルギーセンター	施設見学、発電の仕組み、ごみを減らす工夫を学習し、工作体験を実施	1/7 (土)	児童 10 名 保護者 10 名

◆山陰まんなかの残したい環境フォトコンテストの開催

- ・募集期間：7月16日（土）～10月31日（月）
- ・募集方法：インスタグラム及び応募フォーム
- ・応募点数：1,521点（WEBで結果発表）
- ・展 示：Tonomachi63(松江市)及び各市で巡回展示



一般の部 最優秀賞作品



U-18の部 金賞作品



② 安心して暮らすことのできる環境づくり事業

(1) 防災対策の充実 <資料1 P13>

◆構成市町村の防災担当課による連絡協議会開催

- ・連絡協議会の開催〔8/15（月） 会場：境港市災害対策本部室〕
- ・通信訓練の実施〔3/13（月） 会場：各自治体執務室〕



◆各市間で融通し使用する防災資機材の購入

- ・ペットケージ、ペットキャリーの購入

	米子市	松江市	出雲市	境港市	安来市
ケージ	11	11		2	3
キャリー			11	2	



4 ともに歩む圏域づくり【連携と協働】

① 圏域情報の共有・発信

(1) 圏域内外へのエリアプロモーション <資料1 P14>

◆中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンの印刷

令和3年度に改訂した中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンの本編及び概要版を印刷し、関係機関等へ配布

- ・発行部数
- ・本編 1,500部
- ・概要版 2,000部

◆ホームページ改修

利用者の利便性向上を念頭に置いた情報分類、ホームページデザインの見直しを行うとともに、スマートフォンなどへの対応を実施



② 圏域内の連携・交流推進

(1) 圏域内の連携・交流推進 <資料1 P16>

◆中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進

○8月5日（金）合同勉強会の開催

- ・講師：東京大学未来ビジョン研究センター 教授 高村ゆかり氏
- ・演題：「カーボンニュートラルに向かう世界「変化」の中の地域と企業」

○2月10日（金）合同勉強会の開催

①「中海・宍道湖・大山圏域8の字ルート研究会」 中間報告

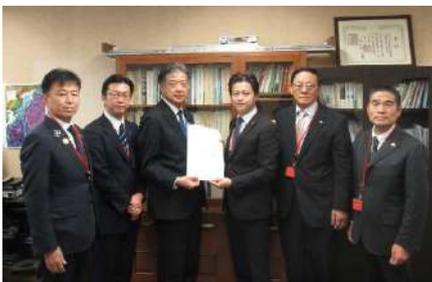
- ・報告者：中海・宍道湖・大山圏域8の字ルート研究会 座長 八幡泰治氏（米子市 総合政策部長）

②「8の字ネットワーク整備の効果分析の検討」について

- ・報告者：国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所 事務所長 近藤弘嗣氏

◆**圏域内インフラの整備促進に関する要望活動、圏域一体となって取り組む事業の推進・強化**
【要望活動等】

- 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る国土交通省に対する要望活動等
 - ・国土交通省 鉄道局官房審議官への要望活動（5/31）
 - ・国土交通省 鉄道局官房技術審議官（鉄道）への要望活動（11/17）
 - ・松江市（くにびき駐車場）、出雲市（JR 出雲市駅）、米子市（米子市公会堂、淀江支所）、安来市（親子交流センター前、汐彩公園前）の周辺施設等に新幹線PR看板を設置
 - ・境港市はまる一歩バス車内に新幹線PR広告を設置
- 境港整備に係る国交省、鳥取県・島根県選出国會議員に対する要望活動
 - ・国土交通省港湾局長及び地元選出国會議員への要望活動（7/28、11/17）
- 中国横断自動車道岡山米子線（蒜山IC～境港間）整備促進総決起大会
 - ・中国横断自動車道岡山米子線（蒜山IC～境港間）整備促進総決起大会を共催するとともに、国土交通省に対し要望活動実施（11/8）



◆**中海・宍道湖・大山圏域 8 の字ルート研究会の設置**

- 中海と宍道湖を介して 8 の字につながる高規格道路ネットワークを活用した圏域づくりについて研究し、総会及びブロック経済協議会との合同勉強会にて中間報告を実施
 - ・研究会 10/5 12/23 1/27 ・企画部会 10/11 12/15 1/19
 - ・産業部会 10/7 観光部会 10/27



◆**全国街道交流会議第 13 回全国大会山陰大会**

- 全国街道交流会議第 13 回全国大会「山陰大会」を開催し本大会のほか、観光文化事業として、小泉八雲を共通テーマとした SDGs バスツアーを開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、リーフレットの作成及び短編動画映像等の作成等可能な事業は実施したものの、SDGs バスツアーと本大会の開催を令和 5 年度に延期

(3) 人材育成の共同化 <資料1 P18>

◆官民が連携した人材育成研修の実施

○「山陰まんなか未来創造塾」の開催

- ・講師：PR プロデューサー 殿村美樹氏
- ・全体テーマ：地方で頑張る中小企業のブランド戦略
～新時代に生き残るために～



【実施状況 (参加者延べ人数 85 名)】

日時	テーマ	会場	出席者
第1回 1/19 (木)	講義「地方の中小企業のブランド構築の基本 概念」 GW「各社の課題の明確化」	出雲商工会議所 6階大ホール	出席者 30人 企業・商工団体 16人 自治体 14人
第2回 2/3 (金)	講義「明日から実践できるマーケティング戦 略」 GW「盲点の洗い出しと、売上アップの具体 的戦術を明確化」	安来商工会議所 1階大ホール	出席者 29人 企業・商工団体 16人 自治体 13人
第3回 3/10 (金)	講義「新時代のイメージ戦略とPR手法 ～少子化に良い人材を獲得し、売上を アップするために～」 GW「各社の具体的な実践プラン作成」	米子商工会議所 7階大会議室	出席者 26人 企業・商工団体 17人 自治体 9人

GW グループワークの略

◆圏域未来人材の育成

○「DXセミナー」の開催

【実施状況 (参加者延べ人数 75 名)】

日時	区分	演題テーマ	講師	受講者数
10/26 (水) オンライン 開催	民間企業向けセミナー	地方中小企業の事例、 DXの始め方・進め方を 学ぼう	株式会社 STANDARD	15人 企業・商工団体： 4人 行政：11人
9/16(金) オンライン 開催	行政職員を対象とした 勉強会 ※講演終了後、行政間 で意見交換会を実施	自治体情報システム標 準化について	株式会社アイネス 駒形修司氏	63人
		DX ソリューション事 例紹介	株式会社アイネス 自治体DX 営業部	
		～20年後、わがまちが スマートであるために ～市内の「DX 推進機 運」を高める処方箋	総務省地域情報化 アドバイザー 宮崎昌美氏	

(研修依頼先 株式会社アイネス)

○発明楽普及支援事業の実施

圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援を行った。



- ・名称 第4回発明楽コンテスト(高校生による発明案プレゼンテーションコンテスト)
- ・開催日程 3/25(土)
- ・開催場所 BSSふれあいスタジオ、参加高校、コメンテーターをインターネット中継
- ・主催 発明楽コンテスト実行委員会(鳥取大学医学部附属病院、BSS山陰放送)
- ・募集内容 「地方の自然豊かな環境下に於けるDX(デジタルトランスフォーメーション)のベストミックスアイデア」
「困っている課題を解決し、まわりの人が笑顔や幸福(Well-Being)になれるアイデア」
- ・応募総数(チーム総数)
鳥取県5校(16チーム)、島根県2校(2チーム)、宮城県1校(1チーム)
計8校(18チーム) 総勢56名の高校生参加
このうち最終審査5校(6チーム)に圏域から、3校(米子東高校・米子高専・出雲高校計3チーム)が出場

(4)文化・スポーツ交流促進事業 <資料1 P21>

◆「～トップアスリートとあそぼう～第4回キッズふれあいスポーツフェスティバル」を開催

○圏域の小学生とその保護者を対象とした、圏域のプロスポーツチームの選手等とのスポーツ交流イベントを実施

- ・日時 2/23(木・祝)
- ・会場 松江市総合体育館(メインアリーナ)
- ・参加チーム ガイナーレ鳥取、ディオッサ出雲、島根スサノオマジック
- ・イベント内容 ガイナーレ鳥取…昔遊び(鬼ごっこ)
ディオッサ出雲…フットサル
島根スサノオマジック…バスケットボール
- ・参加者 圏域の小学生1～2年生
及びその保護者84名(42組)



※定員50組に対し410組が応募。

◆イベント交流事業の開催

○各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業を実施

イベント名称	招致団体	開催日時
第77回みなと祭	安来節 関乃五本松節	7/24(日)
第17回出雲神話まつり	川津ふる里太鼓	8/24(日)
松江伝統芸能祭	境港大漁太鼓	3/12(日)

(5) 移住・定住等促進事業 <資料1 P24>

◆婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組

- 初めのバスツアーでは、共同体験によって参加者同士が親しくなる効果を狙い、2回目の再会パーティでは、模擬結婚式の出席者として再会する結婚式場で行うなど、より婚活を意識させるようなイベントを実施した

第1回

「恋する♡トキメキ・バス婚ツアー in 島根」

- ・日 時：1月22日（日）9:30～18:00
- ・会 場：足立美術館、島根ワイナリー、出雲大社
- ・参加者：男性11名 女性11名 計22名

「恋する♡トキメキ・バス婚ツアー in 鳥取」

- ・日 時：1月29日（日）9:30～18:00
- ・会 場：中海フルーツパーク、レストランテ天空、（水木しげるロードを当初計画に入れていたが、大雪のため予定を切り上げて、終了した。）
- ・参加者：男性14名 女性9名 計23名（大雪のため欠席者あり）

第2回

「恋する♡トキメキ・バス婚からの再会 Party in 島根・鳥取」

- ・日 時：2月12日（日）11:30～15:00
- ・会 場：グランアクイール（松江市）
- ・参加者：男性23名 女性21名 計44名
- ・カップリング9組

◆首都圏大学との圏域キャンパス事業

- 東京大学が実施するフィールドスタディ型政策協働プログラム及び体験活動プログラムに参加し、学生に対しオンライン講座とフィールドワークを実施した

①フィールドスタディ型政策協働プログラム 5名参加

課題：観光DXで中海・宍道湖・大山圏域の未来を描く ～うんぱく3城を中心に～

(ア) オンライン講座

テーマ	講師	日時
圏域の観光施策について	中海・宍道湖・大山圏域観光局 理事長 矢野正紀氏 TM 白井愛子氏	7/15（金）
月山富田城の歴史と概要	安来市文化財課文化財係 係長 大塚充氏	7/15（金）
松江城と城下町 松江城を活用した観光事業	松江城史料調査課 課長 飯塚康行氏 松江市史松江城部 会長 西尾克己氏	7/19（火）
米子城の概要と観光について	米子市文化振興課 主事 日下部かさね氏	7/19（火）

(イ)現地活動

- 8/10 (水) 松江城・塩見縄手散策、堀川遊覧船乗船、松江歴史館（松江城 VR 体験）見学
- 8/11 (木) 月山富田城跡、安来市立歴史資料館及び広瀬城下町散策
- 8/12 (金) 米子城跡及び下町エリア散策
- 9/24 (土) 松江白潟地区、中間報告とグループディスカッション、松江水燈路
- 9/25 (日) 加茂川遊覧、彫刻ロード、古民家所有者との意見交換、月山富田城ボランティア意見交換
- 9/26 (月) 足立美術館

(ウ) 現地報告会

- 3/15 (水) 参加学生からの研究発表と報告会に参加した地元関係者で意見交換会を開催

②体験活動プログラム **3名参加**

- ・活動テーマ：ラムサール条約湿地「宍道湖」・「中海」で水環境と生態系保全を考える
- ・フィールドワーク日時：8月16日（火）～20日（土）
- ・活動内容
宍道湖漁協及び中海漁協に協力を頂き、宍道湖や中海から得られる恵みについて体験（漁、資源保護活動、食等）。さらに、地域住民の湖に対する想いに触れるため、漁師等との意見交換を行った

◆島根大学・若者を共に育てるプロジェクト

- 各市からフィールドワーク候補地や地域課題を提供し、フィールドワークを実施

①イノベーション創成セミナー I **59名参加**

各市担当者からのオンライン授業とフィールドワークをとおして学んだ、5市の魅力について、学生目線での地域人材育成コースパンフレットという形で作成した

(ア) オンライン授業への参加（6月10日）

(イ) フィールドワーク（7月2日）

場所（参加者）	コース
松江市（12名）	美保関町（美保関灯台、美保神社、青石畳通りなど）、島根町（松江ビジターセンター、桂島）、宍道町（宍道サバゲーPARK DANDAN）
出雲市（12名）	大社町（日御碕神社、出雲日御碕灯台など）、出雲大社（神門通り、稲佐の浜）、多伎町（キララ多伎）
安来市（12名）	安来節演芸館、足立美術館、月山富田城跡
米子市（11名）	チュウブYAJIN スタジアム、皆生ビーチリゾート、米子城下町（上町、下町）
境港市（12名）	境港水産物直売センター、大漁市場なかうら、境港さかなセンター、海とくらしの史料館、台場公園、水木しげるロード・水木しげる記念館

②中山間地域フィールド演習 5名参加

(ア) フィールドワーク先：出雲市伊野地区（8月5日～10日）

(イ) 活動内容

伊野地区自治協会や伊野やって未来こい！の皆さんに協力いただき、伊野地区での取り組みについてフィールドワークを行った。最終日には地区の住民の方を招いて、報告会を行った。報告会では参加学生から地域の魅力を活かした提案発表や住民と学生との意見交換を行った

【学生からの提案】

- ・自然環境（ほたるロード、子供の遊び場）の情報発信の強化
- ・ゲームを活かした交流の促進
- ・地域人を活用したインターンシップ
- ・空き家を活用した移住・定住
- ・小学校を活かした地域づくり

③イノベーション創成セミナーII 10名参加

日時：10月16日（日）

(ア) フィールドワーク先

㊦境港市「境港おさかなパーク」

㊧松江市「五本松公園」

(イ) テーマ

㊦施設の利活用、周辺施設と連携した周遊について

㊧リフト跡の活用方法、周辺観光地と連携した滞在型観光について

【学生からの提案】

テーマ	内容
㊦	・魚の捌き方教室の開催 ・周辺施設とのスタンプラリー（ガチャガチャの設置） ・プロジェクションマッピング など
㊧	・ハイキングコース・ヨガ体験 ・フォトスポット（恋人たちの聖地） ・廃墟を活かした美術資料 など

特別会計事業

環日本海貨客船航路就航支援補助金 <資料1 P29>

運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて、別途補正予算対応を検討する計画であったが、まだ再開の見通しは立っていない状況